

新潟市新津美術館

2019（令和元）年度コレクション展Ⅲ

## 北国の人 小島丹漾

会期：2020年1月4日（土）～3月22日（日）

休館日：月曜（祝日の場合は翌日休館。ただし、2月10日は開館）、2月25日（火）

1月12日（日）～17日（金）は展示替えのため休館

本展では、北国の風景や人々の姿を描き続けた画家・小島丹漾をご紹介します。

小島丹漾（本名：泰吉）は、新潟市で日本画家・阿部蘇春の長男として生まれました。16歳で上京し、最初は染物の図案家を志しますが、日本画家へ転向します。1929年、再興第16回院展に初入選をして以降、出品を続け、65年には無鑑査出品、74年には日本美術院同人に推挙されました。

小島丹漾の作品では、落ち着いた色彩の中に「白」が印象的に用いられます。《凍（吹雪）》では、冷たい風が吹き上げる粉雪として、北国の厳しさを感じさせます。一方、《北国の春信》では、咲き誇る花や春風に揺れる風車として、春の訪れを象徴しています。

力強い線描で映し出された北国で暮らす人々の姿をお楽しみください。

小島丹漾 1902(明治 35) - 1975(昭和 50)

作品名	制作年	初出展覧会	材質、技法	寸法 (cm)
凍（吹雪）	1967（昭和 42）	再興第 52 回院展 奨励賞	紙本彩色	170.7×221.1
北国の人	1970（昭和 45）	再興第 55 回院展	紙本彩色	175.3×222.3
北国の春信	1971（昭和 46）	再興第 56 回院展 奨励賞	紙本彩色	172.8×227.3
昼（漁港）	1974（昭和 49）	再興第 59 回院展	紙本彩色	173.3×224.9